

卒業おめでとうございます

3月1日（金）高等部3年生19名の皆さんがしらがね特別支援学校を卒業しました。卒業生の皆さん、学校生活で学んだたくさんのお話を胸に大きく羽ばたいてください。3月15日（金）には小中学部の卒業式があります。小学部2名中学部7名の皆さんも、来年度は新しい環境へと進学していきます。本当に、楽しみです。



各学部主事の先生からの「お祝いの言葉」

卒業おめでとうございます。今年度は、「やればできる」を合い言葉に、勉強や運動など、いろいろな活動に取り組むことができましたね。やってみることで、新しい発見があったり、楽しいことを見つけたりすることができました。中学生になっても、小学部での経験を活かして、自分らしく、自分に自信をもって、いろいろなことに挑戦してみてください。みなさんの更なる活躍を心から応援しています。

小学部主事 大貫千登勢

卒業おめでとうございます。中学部の卒業生は、1年生の時は2名でスタートし、卒業時は同級生が7名に増えました。『みんなちがって みんないい』個性豊かな生徒たちが集まり、お互いを思いやり、協力し合うことの大切さを学びながら、学校生活を送ることができました。そして、苦手なことにも挑戦し、困難を乗り越えていく姿には、いつも感動を与えられていました。これからも失敗を恐れず、多くの経験から多くのことを学んでいってください。高等部での活躍を、心より応援しています。

中学部主事 山崎千賀子

卒業おめでとうございます。卒業生の皆さんが入学した頃はコロナ禍で、いろいろな制限の中での学習が続きました。そのような中でも皆さんはできることに一生懸命取り組み、成長してきました。これからは社会人として羽ばたいていきます。学校で学んだ「ステキな社会人」に近付けるよう、周りで支えてくれる人々に感謝の気持ちもちながらこれからも頑張ってください。皆さんの活躍を祈っています。保護者の皆様、これまでのご理解とご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

高等部主事 板谷雄司

小学部の授業〈大室小との交流会〉

活動を通して親交を深めることを目的に、大室小学校の友達と交流会を行いました。まず始めに、お互いのことを知るために、自己紹介をしました。丸く円になり、顔を合わせながら名前や好きなことなどを発表し合うと、少しずつ緊張もほぐれ、自然と笑みがこぼれました（写真①）。

その後、グループの友達とドッチビーのゲームをしました。ドッチビーのディスクが飛んでくると、当たらないように逃げ回り、回避できたときには友達と声を掛け合って喜ぶ姿が見られました（写真②）。

最後に、“ひまわりの約束”の歌に合わせて、手話を付けながらみんなで一緒に歌いました（写真③）。交流会が終わった後には、学校の花壇で育てたフウセンカズラの種をプレゼントして、お礼の気持ちを伝えることができました。とても楽しい交流会となり、充実した時間を過ごすことができました。



写真①



写真②



写真③

中学部の授業〈伊勢崎市立第三中学校との交流学習〉

前年度まではオンラインでの交流でしたが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、本年度は実際に本校生徒が伊勢崎市立第三中学校に出かけ、対面での交流会を実施することができました。第三中学校の武道館を会場として、挨拶や名刺交換をしながら自己紹介をしたり、「ドッチビー」を使って第三中学校の生徒と一緒にゲームをしたりして、仲良く、楽しく過ごすことができました。最後には、しらがね祭のステージ発表で歌った「ひまわりの約束」を発表し、たくさんの拍手をいただいて満面の笑みの生徒たちでした。



名刺交換



ドッチビー



ひまわりの約束

高等部の授業〈GACHi 高校生×県議会議員〉

群馬県議会議員を招いて、GACHi 高校生×県議会議員が行われました。群馬県議会の金井議員、神田議員にお越しいただき、A課程を中心とした生徒とガチ解説&クイズやガチ意見交換を行いました。

金井議員より「政治について」「選挙について」「県議会について」等の説明を受けた後、○×クイズで分かりやすく政治や選挙について学びました。また意見交換では「議員の好きな動物や食べ物」「子どもの頃どんなスポーツをしていたか」という個人的な質問から「プールを作ってほしい」などの要望まで、真剣に答えていただきました。また「10年後、近代化はさらに進んでいるか」など難しい質問にも丁寧に答えていただきました。

